

製品名: GABAA R ϵ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11240**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 57kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | GABRE |
| 別名 | GABRE; Gamma-aminobutyric acid receptor subunit epsilon; GABA(A) receptor subunit epsilon |
| 遺伝子 ID | 2564.0 |
| SwissProt ID | P78334 |
| 免疫原 | ヒト GABAA 範囲の内部領域 R ϵ から得られた合成ペプチド。 |

背景

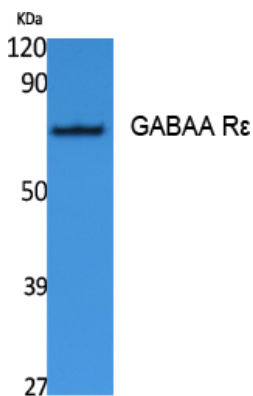
この遺伝子産物は、リガンド依存性イオンチャネル (TC 1.A.9) ファミリーに属します。この遺伝子は、中枢神経系において最も速い

抑制性シナプス伝達を媒介する多サブユニット塩素イオンチャネルである γ -アミノ酪酸 (GABA) A 受容体をコードします。この遺伝子はイプシロンサブユニットをコードします。この遺伝子は、同じ受容体の $\alpha 3$ 、 $\beta 4$ 、および θ サブユニットをコードする遺伝子からなるクラスター内の染色体Xq28にマッピングされています。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが同定されていますが、タンパク質をコードすると考えられるのは1つだけです。[RefSeq 提供、2008年10月]、機能: GABAは脊椎動物の脳における主要な抑制性神経伝達物質であり、GABA/ベンゾジアゼピン受容体に結合して必須塩素イオンチャネルを開口することにより、神経抑制を媒介する。、類似性: リガンド依存性イオンチャネル (TC 1.A.9) ファミリーに属する。、サブユニット: 一般に五量体。 α サブユニットおよび β サブユニットと関連する。、組織特異性: 多くの組織で発現する。成体では心臓と胎盤で最も高い発現レベルを示す。、

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



GABAA Rε ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。